

ふるさと景観遺産 (B-1 景観) 各市町認定候補推薦一覧

○シリーズ

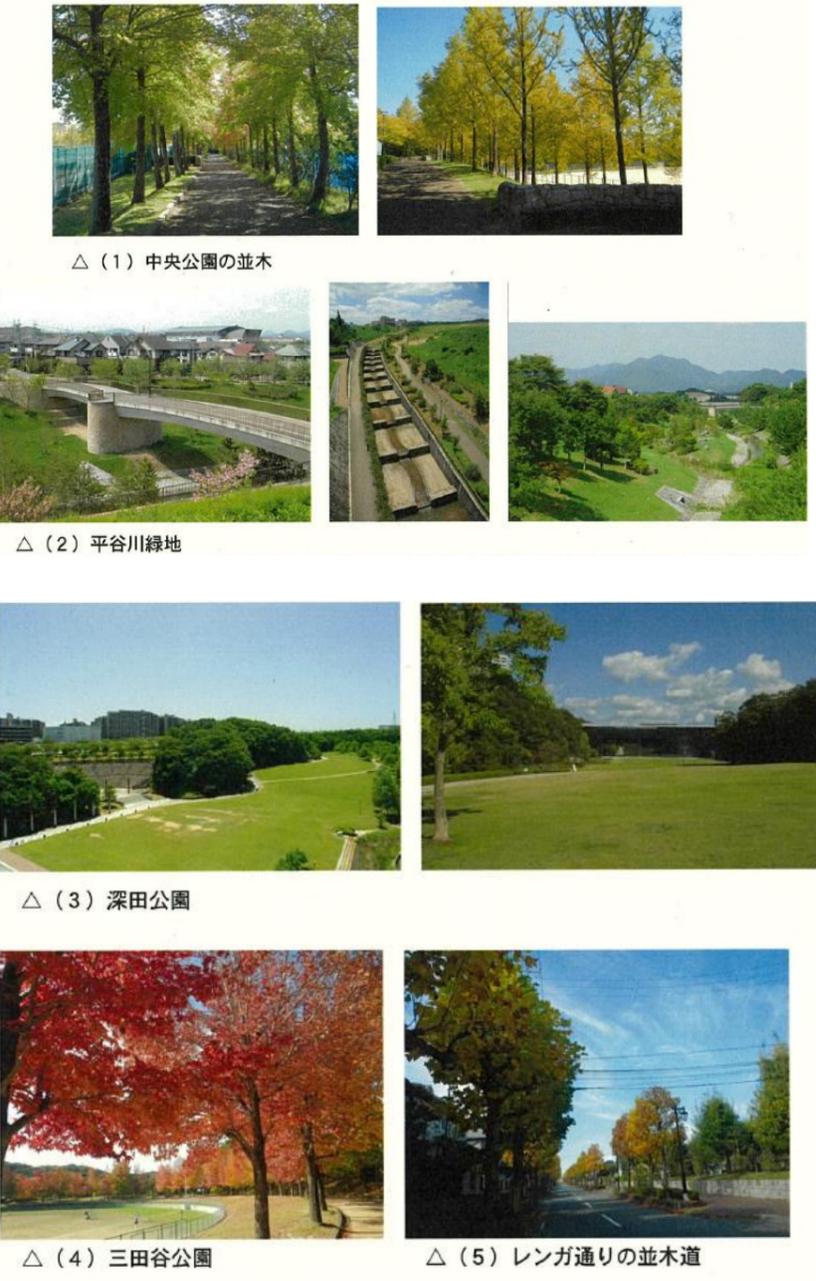
NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等	
1	建造物群	のこぎり屋根	日本毛織印南工場 (加古川市)	 	赤レンガを使用した工場群。立ち並ぶ様子はまるで外国の景色。現在も操業中。	
2	建造物群	レトロな商店街	旧市街地の昭和レトロなナメラ商店街 (三木市)	   	神戸電鉄三木上の丸駅下で三木城跡に隣接し、三木市内で最も栄えていた商店街。伝統的な町家も点在し、昔懐かしい空間が残っている。 また、当商店街では、地域の魅力を発信するイベントとして、三木城下町まちづくり協議会が主催のイベント「レトロヂ」が毎年開催されている。	
3	建造物群	学び舎	旧大森小学校 (豊岡市)	 	豊岡市竹野町にある閉校した旧竹野町立小学校の建物。 昭和 62 年 3 月閉校 豊岡市竹野町に現存する閉校から 30 年以上が経過した小学校校舎。 風情ある校舎を地域の交流施設や NPO 法人の若者自立活動拠点として利用。	現在の校舎利用はなし。 以前は若者自立活動拠点としてバイオディーゼル燃料の製造をしていた。
4	建造物群	学び舎	旧三原小学校 (豊岡市)	 	市内でも珍しい現存する閉校後の古い校舎であり原風景に溶け込んだ姿を残している。	現在は地元地区に移譲され地域交流施設（サントピアあすなろ）やカフェ（燦とぴあ）として利用されている。
5	建造物群	缶詰の茅葺き屋根	目高集落 (佐用町)		ひょうごの景観ビューポイント 150 選にも選出された集落。秋になると朝霧が集落近くまで立ち上り、霧に包まれた山里は幻想的である。桜の咲き誇る春には「桃源郷」と呼ぶにふさわしい風景を見ることができる。	

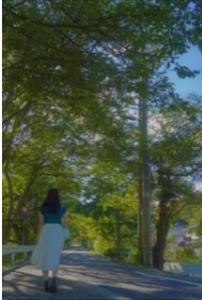
NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
6	建造物群	缶詰の茅葺き屋根	若州集落 (佐用町)		佐用町の最北部で、岡山の県境に位置する。茅葺き民家を再生し、グラミンカ（グランピングの古民家版）として改修が進んでいる。
7	建造物群	レトロな社宅群	ニッケ社宅群 (加古川市)		明治末期から大正初期にかけて建てられた洋館をはじめ、木造長屋が残る。未舗装の道路も多く残り、懐かしい風景が広がる。
8	建造物群	ミュージアム、異国情緒	福崎町立神崎郡歴史民俗資料館 (福崎町)		<ul style="list-style-type: none"> 旧神崎郡役所を移築・復元した利用している。 ギリシャ様式を取り入れた擬洋風建築物で、内外の意匠に多くの特徴を持つ県指定重要有形文化財。 明治以来、当地方発展の中心的役割を果たした記念的建築物。
9	建造物群	陣屋	三日月藩乃井野陣屋 (佐用町)		<p>三日月藩は元禄から明治までの174年間、政治・文化の中心地として栄えた。</p> <p>発掘調査や史料調査を基に、橋や門、長屋、櫓など当時のようすの一部が再現され、出土品も展示されている。</p>
10	建造物	橋	大正レトロな建造物、橋、再利用橋 (香美町)		<p>1918（大正7年）に完成した塩屋橋（洲本川）は、1958（昭和33）年に旧洲本橋が完成したことから、その役目を終え、矢田川橋に再利用され、地元で愛される橋となっている。</p> <p>【再利用された大正レトロなトラス鉄橋「矢田川橋」】</p> <p>橋長：23.4m、 形式：単純鋼トラス下路式+単純RC中実床板橋</p>
11	建造物、まちなみ	地場産業（やきもの）	三田のやきもののふるさと三輪明神窯跡 (三輪のちゃん山の史跡園) (三田市)		<p>三輪明神窯跡群は、江戸後期に始まり日本各地に流通した三田焼の中心的な窯である。かつてはこの窯で染付、色絵などの製品が作られ、とりわけ青磁に多く優れた製品が生み出され「三田青磁」の名で全国に知られた。</p> <p>現在、第1号窯は、第2・第3号窯、素焼き窯や工房跡などとともに兵庫県指定史跡となり、「三輪明神窯史跡園」として整備されている。園内にはこれら三田焼の技術を体験できる陶芸学習棟や、出土品の展示コーナーを備えた管理棟を設置。郷土の歴史と文化に触れる事のできる施設として、小学生の地域学習などに活用されている。</p>

NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
12	建造物、自然系	ダム	一庫地区の自然豊かなダム湖 (川西市)	  <p style="text-align: center;">ダムから望む周辺景観</p>  <p style="text-align: center;">トラスドラランガー橋 (アーチ橋)</p>	<p>一庫ダムは、昭和 58 年 (1983) に一庫大路次川 (淀川水系) に建築されたダムである。ダムによって形成された人造湖の知明湖 (ちみょうこ) は、ダム湖百選に選定されている。</p> <p>また、一庫ダム、知明湖付近は猪名川溪谷県立自然公園に指定されており、四季折々の自然景観を楽しむことができる。</p> <p>なお、知明湖にはいくつかの橋梁が架設されているが、その中の知明さくら橋は、赤く塗られたトラスドラランガー橋 (アーチ橋) で、この湖のランドマークとなっている。</p>
13	建造物	橋シリーズ	皿池にかかる眼鏡橋 (加西市)		<p>皿池にかかる通称「眼鏡橋」は石と木材で作られており、真ん中に3つ丸い穴があいているユニークな形をしている。</p> <p>橋を渡ると池の中の浮島にも行くことができる。</p> <p>風のない日に水面にうつる逆さの橋と、木々の様子はとても神秘的である。</p>
14	まちなみ	まちなみを演出する通りの風景	多田街道の水路と伝統的建築物のまちなみ (都市景観形成道路地区内) (伊丹市)	  	<p>伊丹郷町から多田神社へと北へ続く道。伝統的な建造物と水路の景観、旧街道の落ち着いた景観を創出している。</p>
15	まちなみ	まちなみを演出する通りの風景	赤穂御崎きらきら坂 (瀬戸内海につづく坂道とまちなみ) (赤穂市)		<p>きらきら坂は、兵庫県の赤穂御崎にある「伊和都比売神社」から瀬戸内海へつながる坂道の愛称。坂道沿いに昔ながらの建物をリノベーションしたカフェや、ガラス作家のアトリエ&ショップ、ナポリ料理店など、個性豊かな店が並んでいる。</p> <p>その坂道からは、きらきら青く輝く瀬戸内海が目の前に広がっている。夕日に染まる姿も美しく、「日本の夕陽百選」に選ばれている。</p> <p>毎月第3日曜日には、にちよう朝市「御崎マルシェ」が開催され、御崎マルシェ限定商品、地元の農産物や海産物、手作り雑貨、アクセサリーなど、御崎マルシェだけで購入できる商品などが並ぶほか、「きらきら坂音楽会」というライブが行われ賑わっている。</p>

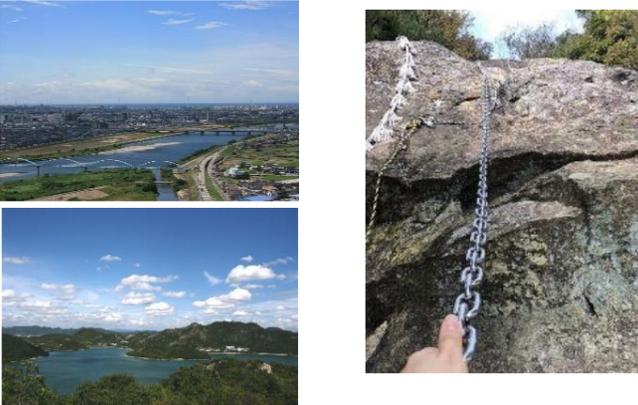
NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
16	まちなみ	まちなみを演出する通りの風景	歴史文化かほる湯の山街道のまちなみ (三木市)		<p>卯建、虫籠窓、格子、漆喰塗りなどを設えた町家が点在し、宿場町の面影を残す町並みが残っている。</p>
17	まちなみ	河川・小川風景	ビッグハープと彩る猪名川河川敷 (川西市)	 <p style="text-align: center;">猪ビッグハープと猪名川河川敷名川河川敷</p>	<p>猪名川の中流地域の河川敷からは、新猪名川大橋（通称ビッグハープ）を間近に見ることができる。ビッグハープは阪神高速道路の池田延伸部で、対岸は大阪府池田市になる。コンクリート製斜張橋としては国内最大。春に桜と菜の花が咲き、まちの景観を鮮やかに彩る。</p>
18	まちなみ	河川・小川風景	猪名川の溪流と鉄橋 (川西市)	 <p style="text-align: center;">猪名川と能勢電鉄鉄橋</p>	<p>鼓が滝は川西市中部に位置しており、能勢電鉄の駅「鼓が滝駅」がある。能勢電車は川西市を南北に走っており、川西市は能勢電車と共に発展してきた。</p> <p>猪名川橋梁は猪名川に架かる能勢電鉄の鉄橋で、緩やかなカーブの道路、川の流れ、鉄道の景観が合わさって開放的でダイナミックな景観が作り出されている。また、猪名川の中に大きな岩が多くあるのも特徴的な景観となっている。</p>
19	まちなみ	河川・小川風景	武庫川の桜並木 (三田市)	 <p style="text-align: center;">△武庫川の桜並木</p>	<p>武庫川の河川敷には散策コースが整備され、のどかな田園風景の中、四季折々の草木を楽しむことができる。特に春には見事な桜並木が見られる。</p>

NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
20	まちなみ（自然・田園風景）	河川・小川風景	現存する銀の馬車道の桜の風景（神河町）		吉富・畑川原は、現存する銀の馬車道として当時の面影を感じることができる場所。 往時の馬車道を馬車で通った様子を復元する原寸大のモニュメントが設置され、畑川原池沿いの桜並木が満開になる春は、写真スポットとしてもおすすめ。
21	まちなみ	河川・小川風景	味原川沿いの遊歩道（風情あるまちなみ）（新温泉町）		味原川沿いには、石垣の他にもかつての港の風情を残す船だまりから上流まで、浜坂の歴史と文化を感じることができる様々な事物が連続している。また川沿いの遊歩道は、地域の生活道路としても、まちへの来訪者の散策路としても用いられている。
22	まちなみ	参道まちなみ	室津地区の賀茂神社の参道（たつの市）		京都賀茂別雷神社の御厨の地に建てられた国指定重要文化財、賀茂神社の参道。 杉と県指定天然記念物のソテツが参道沿いに群生し、奥に覗く馬脚門と相まって印象的な景観を生み出している。
23	まちなみ	城下町	三田藩武家屋敷の街並みと旧九鬼家住宅（阪神北地区で唯一の城下町）（三田市）	 △旧九鬼家住宅資料館  △「屋敷町」に残る城下町の面影	江戸時代、三田の地を治めた三田藩の家臣が居を構えた武家屋敷群があった場所が、現在も「屋敷町」として名を残している。新しい住宅も増えていますが、江戸時代から変わらない住居も残り、当時の町割りとともに、かつての城下町の面影を感じることができる。 また、三田藩の家老職を代々勤めていた九鬼家の住宅として、明治9年ごろに建立された旧九鬼家住宅は、現在「旧九鬼家住宅資料館」として公開されており、武家屋敷の名残を残す二階建ての住宅ながら二階部分に洋式のデザインが取り入れられている独自の作りのほか、昔の暮らしを知ることのできる展示・体験施設として、地域の歴史を伝えている。
24	まちなみ	まちなみ・温泉街	湯地区の温泉街のまちなみ（新温泉町）		湯地区は、湯村温泉の泉源を持つ温泉観光地の中心部。温泉観光地であるとともに、まちなかには一般住宅も多く、温泉旅館と一般住宅が混在する特徴を有しており、いつまでも住み続けたいまちづくりを進めている。

NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
25	自然系（まちなみ）	並木道	ニュータウンに広がる緑 (三田市)	 <p>△（１）中央公園の並木</p> <p>△（２）平谷川緑地</p> <p>△（３）深田公園</p> <p>△（４）三田谷公園</p> <p>△（５）レンガ通りの並木道</p>	<p>神戸三田国際公園都市の一翼を担う「北摂三田ニュータウン」。快適な居住空間と、働き、学び、憩い、かつ交流する高次都市機能を複合機能都市として開発された。</p> <p>美しい街並みの住宅地には広々とした公園や緑地が広がる。</p> <p>街の中には豊かな緑が配され、近代的な建造物と自然の調和が楽しめる。</p>

NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
26	自然系（まちなみ）	並木道	加西南産業団地前 モミジバフウの並木道 (加西市)		加西南産業団地前の県道の両脇にはモミジバフウの並木道がある。道の両脇にそびえるモミジバフウの光景は圧巻である。秋になると葉が真っ赤に染まり、まるで異国の景色のようである。 加西市の紅葉スポットとして地元の人や写真愛好家に愛されている。
27	自然系	並木道	福崎町立歴史民俗資料館前 桜のトンネル (福崎町)		福崎町の文化ゾーンである辻川界限、桜に誘われて歴史ある歴史民俗資料館(旧神崎郡役所、県指定文化財)や柳田國男生家(県指定文化財)へ自然と足が運ばれる。
28	自然系	並木道	無南垣の桜並木 (香美町)		一本道に桜の木が並ぶ。 春には満開の桜、夏には木漏れ日が落ちる情景が楽しめる。
29	自然系	並木道	御殿山公園の桜回廊 (香美町)		江戸時代の初期に山名氏が陣屋を構えた跡地を整備された御殿山公園は、桜の名所として地域住民の憩いと安らぎの場となっている。 春にはソメイヨシノや八重桜、秋には紅葉などが遊歩道を散策しながら眺められる。この地を治めた山名氏の陣屋跡に整備された公園で、町民の憩いの場となっている。 グラウンドや遊具、トイレ、花壇などのほか、山名氏由来の御廟や奥方部屋なども。 ◎御殿山公園（敷地面積 40,716 m ² ） ・昭和 57 年 村岡高等学校新校舎建築 ・平成 20 年度 サクラ記念植樹 ・平成 24 年度 旧村岡高等学校体育館取壊し ・サクラ本数 約 500 本（ソメイヨシノ、八重桜、山桜、ギョイコウ 他） ・植栽植物 松、イロハモミジ、ドウダンツツジ、アジサイ 他

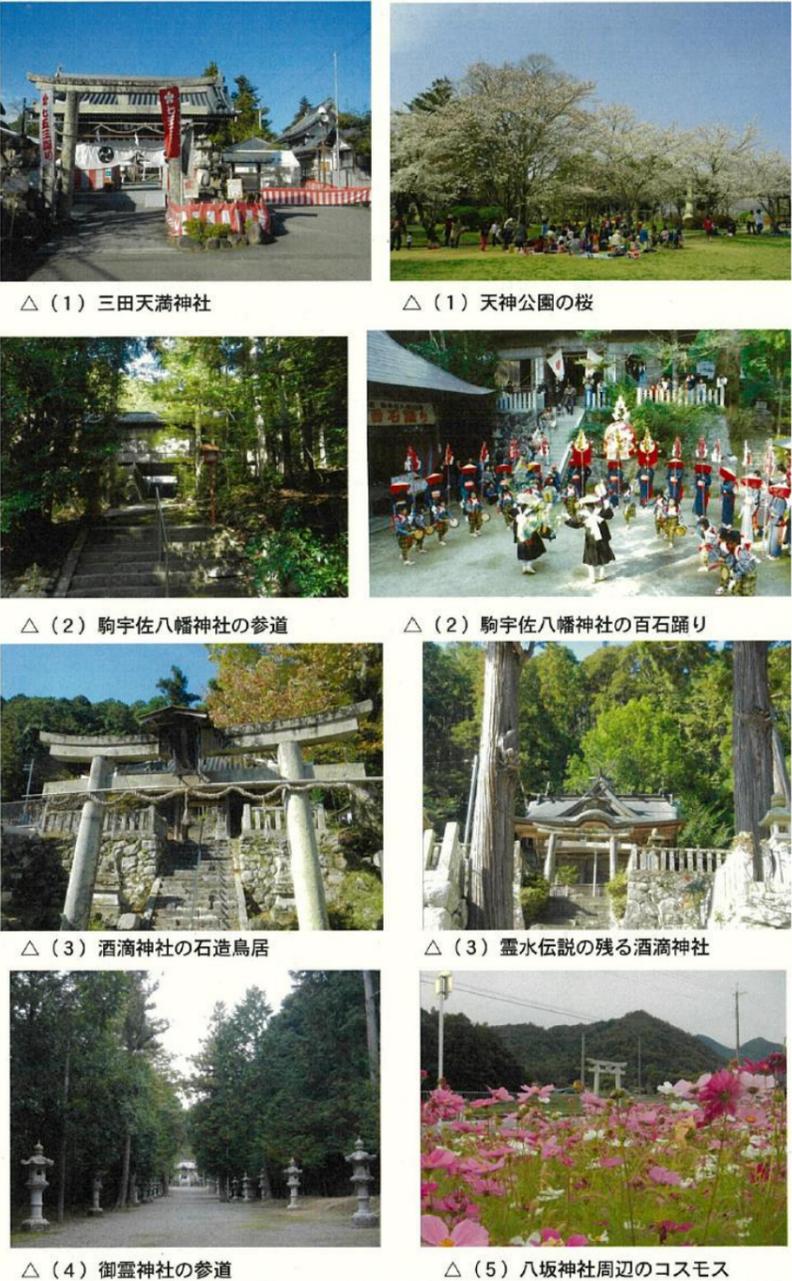
NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
30	自然系	星空	砥峰高原の星空 (神河町)		砥峰高原は、西日本有数の約 90 ヘクタールに及ぶスキの高原。映画「ノルウェイの森」など多くの作品のロケ地になった。遮るものがなく、降り注ぐような満点の星空が楽しめる。
31	自然系	星空	峰山高原の星空 (神河町)		峰山高原は、標高 930 メートルで、冬はスキーが楽しめ、夏は避暑地としても人気を集めている。遮るものがなく、降り注ぐような満点の星空が楽しめる。
32	自然系	星空	兵庫県立大学西はりま天文台の星空 (佐用町)		大撫山の山頂に位置する西はりま天文台からは、他の照明に妨げられず美しい星空を楽しむことができる。ひょうごの景観ビューポイント 150 選にも選出された。
33	自然系	星空 (夜景)	ゆうなぎの丘の星空 (香美町)		ゆうなぎの丘は、高台になっているため星空が良く見える。山などに登る必要が無いので利用しやすい。また、香住の町明かりも一望でき、夜景も楽しめる。
34	自然系	棚田	奥猪篠地区の棚田 (神河町)		国道 312 号沿い、生野峠の南に位置する猪篠集落の奥、「奥猪篠」にある棚田の風景。 緑の階段のように広がる棚田と、「ふるさと兵庫百山」に選定された白岩山の山すそをはいあがって行くように通る道が織り成す眺めは、心が和む農村の風景となっている。

NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
35	自然系	山・田園	川も湖も望める升田山からの風景 (加古川市)		<p>105mと低い山ながらも眼下に加古川、また、平荘湖を望むことができる。 頂上付近の八十の岩橋は「播磨風土記」の中で、神々が天と行き来した場所と言われている名勝。</p>
36	自然系	山・田園 (桜)	かんざき桜の山・桜華園から見える田園風景 (神河町)		<p>「かんざき桜の山・桜華園」は、神河町東柏尾にある大獄山の山麓に約240種、3,000本の桜を植栽した「桜の青空博物館」である。品種により開花の時期が異なるため、長い間桜を楽しめます。1本1本特徴のある花をじっくり観賞するにはぴったりである。 園内からは、桜ごしに広がる東柏尾地区の田園風景が眺望できる。</p>
37	自然系	山・雲海	吉滝キャンプ場から見た山と雲海		<p>山の上にある吉滝キャンプ場からは小代の町が一望できる。 秋になると朝方に雲海が発生することもあり、壮観である。</p>
38	自然系	海	七坂八峠から見る山陰海岸の風景 (新温泉町)		<p>海岸線沿いを通る七坂八峠から見る山陰海岸と港の風景。 夏の夜になると、水平線に連なる漁火により幻想的な風景が広がる。</p>
39	自然系	海・朝日・夕日	ゆうなぎの丘から見た白石島 (香美町)		<p>香美町香住区は「日本の夕陽百選」の地域にも選ばれており、高台になっているゆうなぎの丘から見る夕日は絶景。 山陰海岸国立公園の変化に富んだ海岸線と、その水平線の彼方に沈む鮮やかな夕日を見ることができる。 日の入り後は、夕闇の水平線に並ぶ漁火(いさりび)を見ることができる。</p>

NO	種別	シリーズ名	名称	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
40	自然系	海・朝日・夕日	御崎地区から見た香住海岸 (香美町)		余部埼灯台がある御崎地区は高台になっており、香住海岸が一望できる。 夏には夕日が沈み、冬には朝日が昇る様子を見ることができる。 秋の白いかの時期には漁火がみられる。
41	自然系	池	畑町の奥上池 (加西市)		山を少し入ったところにひっそりとある奥上池。太陽の光が澄んだ池の水に反射してきらきらと輝く様子を見ることができる。 加西の人でも知る人ぞ知る隠れた絶景スポット。池の水が無くなる10月末から3月を除く時期が見ごろ。
42	樹木	由緒ある樹木	日本最古のオリーブ (加古川市)		法蔵寺内にある日本最古のオリーブ。神戸オリーブ園から苗木を譲り受け明治19年に植栽された。
43	樹木	由緒ある樹木	倉尾地区のオハツキイチョウ (上郡町)		<ul style="list-style-type: none"> ・一枝から5～7枚の葉が出て、その内の1か所に実を付けるという、珍しいイチョウであること。 ・倉尾地区の公民館前に植えられており、地域のシンボルとして親しまれてきたこと。 ・昔(年代不詳)、道路整備の支障になるため切り倒そうとした際に、『地元の古老に「このイチョウは普通の木とは違い大変珍しい木だから」といわれ切り倒すのをやめた』という、逸話が地元で語り次がれていること。(鋸の傷跡が現在も残っている。)
44	その他	イベント・レクリエーション	気球の飛ぶ風景 (加西市)		気球は平成26年2月から加西の空を飛び始めた。 加西市は台地上の平野が広がり、上空には比較的落ち着いた風が吹くなど、気球のフライトに適している。 飛行シーズン(11月～5月)には、気球飛行の起点である鶉野飛行場跡に全国から多くの気球チームが集まる。 澄んだ青空を飛ぶ色とりどりの気球の様子は、今では加西の日常の風景の一部となりつつある。

○ストーリー

NO	種別	ストーリー名	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
1	建造物・樹木／ 自然・田園風景	純血種が奇跡的に残った“和牛の聖地”廃村「熱田集落」(香美町小代区)		<p>豪雪地帯である兵庫県香美町小代区の秘境に佇む熱田集落跡。但馬牛(うし)純血種が残った“和牛の聖地”として語り継がれ、2010年までの約30年にわたり、都市部からの自然体験教室を受け入れた、農泊のさきがけとなる民家跡が残る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秘境に佇む昭和レトロな熱田分校 ・農泊のさきがけ「自然体験教室を受け入れた熱田の古民家」 ・純血種が残った“和牛の聖地”「あつた蔓」が生まれた里 ・豪雪地帯ならではの避雪地「熱田越冬住宅」
2	建造物群	奇跡的に残った乃井野武家屋敷群(佐用町)		<p>元禄10年(1697)、津山藩森家の分家である森長俊が三日月に移住し、1万5千石の三日月藩主となった。明治までの174年間、三日月町乃井野地区は政治・文化の中心として栄えた。</p> <p>森家の家臣であった小林家・竹内家・田村家・船引家の住居は、4軒の武家屋敷群として、明治以降の経済発展を逃れた田園風景の中に、連続する白壁の土塀とともに残っている。大変貴重な武家屋敷群であるとして、武家屋敷マルシェの開催など地域活性化のため保全と活用に取り組んでいる。</p>
3	自然・田園風景	新野水車の里(神河町)		<p>新野の水車は、元禄6(1693)年以前から存在する、揚水用として水を田へ汲み上げる水車である。</p> <p>一番多いときには1.5キロメートルの間に18基の水車が稼働していましたが、利用の減少に伴い3基にまで減っていた。そこで、地域住民が集まり、村の活性化を図るために水車を復活させることを決め、8基の水車を復活させることができた。今では11基の水車が活躍し、昔ながらの田園風景が復活している。</p> <p>近くには、バイカモが咲く水路もあり、地域住民により大切に守られている。</p>

NO	種別	ストーリー名	写真	景観の特徴・推薦理由・意見等
4	その他	三田の神社のある風景（三田市）	 <p>△（1）三田天満神社</p> <p>△（1）天神公園の桜</p> <p>△（2）駒宇佐八幡神社の参道</p> <p>△（2）駒宇佐八幡神社の百石踊り</p> <p>△（3）酒滴神社の石造鳥居</p> <p>△（3）霊水伝説の残る酒滴神社</p> <p>△（4）御霊神社の参道</p> <p>△（5）八坂神社周辺のコスモス</p>	<p>(1) 三田天満神社 江戸時代、三田藩主九鬼氏の祈願所であった。隣接する天神公園は桜の名所で、三田八景の一つにも数えられている。</p> <p>(2) 駒宇佐八幡神社 うっそうとした緑に囲まれた階段をのぼると宮建築の杵を尽くしたの本殿が見えてくる。毎年11月23日に行われる「百石踊り」は、室町時代に始まったとされ、県の重要無形民俗文化財に指定されている。</p> <p>(3) 酒滴神社 山中に滴り落ちる霊水により人々が救われたことを起源とする。本殿へと続く急な石段の前には、県下で最古の在銘石造鳥居（県指定文化財）がある。</p> <p>(4) 御霊神社 長い参道に灯籠が並び、生い茂る木々の先には国指定文化財である本殿が鎮座している。豊かな緑の奥にたたずむ社屋の様は独特な景観を生み出している。</p> <p>(5) 波豆川八坂神社 地元の波豆川農業生産組合が育てた約10万本のコスモスが、季節になると訪れるひとびとを出迎えている。</p>
5	その他（石碑）	多可町フットパス～孝行のメッセージの石碑～ （多可町加美区市原）		<p>この地に生誕した「森安こはる」さんは、とても親孝行な女性で、その行いに対して大正4年、婦人世界社が日本3孝女に選定し、県知事賞を受けられた。</p> <p>その精神を受け継ぎ毎年全国から孝行のメッセージを募集している。孝行のメッセージを書いた石碑が10基ある。</p>